

平成 2 9 年 度 事 業 計 画 書

(平成 2 9 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久邑の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

平成 2 9 年度も本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行う。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業
 - (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
 - (3) スクール（寿）コンサート事業
 - (4) 中国の旅事業
- 2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業
 - (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
 - (2) 生活体験学習（通学合宿）事業
 - (3) 中学校生徒会交流事業
- 3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業
 - (1) 多久聖廟の維持管理事業
 - (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業
 - (3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業
- 4 図書製作販売事業

- 5 新年のつどい開催事業
- 6 各種教室・講座開催事業
- 7 法人運営・管理事業

【事業内容】

- 1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業
 - (1) 積菜事業

積菜は、多久聖廟創建（1708年）以来、約300年の歴史があり、春（4月18日）、秋（10月第4日曜日）の年2回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

平成28年度は、秋季積菜の前にサガテレビより雅楽の取材等やテレビアニメサザエさんのオープニングで多久聖廟と積菜の舞の衣装を着たサザエさんが放送されるなど全国に情報を発信することができた。平成29年度は、報道関係機関へ訪問活動を行い、積極的に広報活動を行う。また、歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代への的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

ア 実施時期：春季：4月18日(火)、秋季：10月22日(日)

イ 事業の対象者：一般住民

ウ 周知方法：市報、チラシ、ホームページ、SNS、機関誌等で広報予定

- (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

ア 募集（周知）方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ、ガイド誌、SNS、機関誌等で広報予定。

イ 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の方々に審査していただく。

審査員：石川忠久先生（学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会理事長、専門は古典中国文学）、佐藤保先生（国立大学法人お茶の水女子大学名誉教授、専門は中国古典詩研究）

ウ 表彰方法

1 2月2日(土)に予定している全国ふるさと漢詩コンテスト表彰式会場において発表し、表彰する。

最優秀賞：1点、優秀賞：2点、入選：3点、奨励賞1点

最優秀賞の作品は、石碑に漢詩を書いた陶板を埋め込み、東原庫舎周辺に設置する。

(3) スクール(寿)コンサート事業

多久市在住の趙勇(揚琴演奏家)氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、子供達や高齢者の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

ア 開催場所等

(ア) スクールコンサート：多久市内義務教育学校3校(参加者：全校児童・生徒、教員、保護者)

(イ) 寿コンサート：市内各町公民館等(参加者：老人会会員)

(4) 中国の旅事業

多久市は、多久聖廟がある由縁から中国や孔子直系子孫の方々と積極的に交流している。今後、多久市と中国及び孔子直系子孫との関係をより密接なものとし、交流活動を広げ、市民の交流を活発にするため、北京にある孔子基金会との意見交換や孔子直系子孫である孔徳懋氏との交流会、中国文化遺産視察等を行い、中国文化への理解を深める。

ア 実施時期：11月予定

イ 実施地域：北京・福建省(予定)

ウ 周知方法：市報、チラシ、ホームページ、機関誌等で広報予定。

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要あることから、青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図る。

ア 対象児童：多久市内義務教育学校3・4・5・6年生

イ 募集方法：毎年4月に多久市内の対象者全員(約620人)に案内チラ

シを配布する。

ウ 実施時期：毎月第2・第4土曜日の午前中

エ 実施内容

(ア) ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60分8回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成する。

(イ) ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受け、ジュニアガイドのスケジュールを管理する。

(ウ) 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートする。

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子供達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる最も大きな原因の一つは、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。平成28年度は、毎年大人気の麺工房こうきの早田光希氏によるうどん作り体験や野菜ソムリエの西岡弘子氏による西多久町の米ぬかをつかったぬか漬け作りなどを行った。当事業は、年齢の異なる友達と一緒に生活をしながら、様々な体験を通して、忍耐力、謙譲の心、思いやりの心を学ぶ場として実施する。

ア 実施時期：9月20日～9月23日（3泊4日）

イ 実施場所：東原庁舎

ウ 募集方法：多久市内の義務教育学校3～5年生の全児童に案内チラシを配布し、周知する。

エ 参加費用：5,000円

(3) 中学校生徒会交流会事業

多久市内義務教育学校生徒会役員が一堂に会し、各校の生徒会活動などの情報を交換し、グループワークや年間目標の作成などの活動を通して生徒会役員の資質の向上を図る。

ア 実施時期：12月下旬

イ 実施場所：東原庁舎もしくは義務教育学校

ウ 募集方法：多久市内の各学校の生徒会に募集をかける。

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

(1) 多久聖廟の維持管理事業

当業務は多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行うものである。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庫舎」の3施設を一体的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で枳菜などの伝統文化に触れ、東原庫舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することができる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことができるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与する。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は、約300年の間に度々改修が行われている。多久聖廟展示館では、この改修の変遷や発掘された文化遺産などを展示している。また、枳菜で行われる伝統芸能の紹介、衣装の展示や、多久聖廟や枳菜に関する資料や過去の研究、衣装などを展示することにより、聖廟周辺の文化の振興に寄与する。

ア 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配像に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示する。

イ 枳菜に関する資料、衣装等の展示

枳菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示する。

ウ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行う。

エ 多久百景写真コンテストの開催

多久市の四季・伝統文化・歴史を紹介するために多久百景写真コンテストを開催し、受賞作品を多久聖廟展示館に展示することで、多久市の魅力

を来館者へ紹介する。

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

当事業は、社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する事業を行うことにより、学芸文化等の研鑽振興を図る。

4 図書製作販売事業

平成28年度は唐津市教育委員会が佐賀県中学校教育研究会国語部会佐賀県大会にて百人一首式論語カルタを活用した授業を発表し、唐津市の中学校より注文を受けるようになった。

今年度も各教育委員会と連携し、学校教育での論語カルタの普及を図ると共に全国の利用者に向けて通信販売サイトAmazon.comでの販売及びホームページにて通信販売を行う。

また、多久市観光協会、一般社団法人たく21と連携し、通信販売サイトふるさとTAKU配便やふるさと応援寄附金の特典品による販売を通して多久市の論語教育の普及及び多久聖廟に関する文化の普及を図る。

販売場所：東原庠舎、多久市物産館朋来庵、通信販売サイトふるさとTAKU配便、通信販売サイトAmazon.com

- (1) 出版物概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）、論語いろはカルタ、論語日めくりこよみ、論語カルタ解説書、日本・中国・朝鮮の孔子廟、多久の詩情

5 新年のつどい開催事業

平成28年度は多久市商工会及びJAさが並びに多久市観光協会の共催で多久市まちづくり交流センターあいばれっとにて開催した。

平成29年度も今年度の改善を行いながら、広く市民の方々に呼びかけ、多久市民の有志等が一堂に会して、新年の抱負を語らい、お互いの親睦を図る為に開催する。

- (1) 対象：一般市民、市内、市外の企業等
(2) 募集方法：市報、新聞、ホームページ等を活用して周知予定。
(3) 開催期日：平成30年1月4日（木）

(4) 開催場所：未定

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図る。

(1) 市民大学運営事業

目的：多久市の伝統文化の継承・紹介及び生涯学習の発展に寄与することを目的としている。

ア 内容：論語教室等約16講座の予定

イ 開催場所：東原庁舎や中央公民館など多久市内の施設

ウ 開催期間：6月～翌年3月

(2) ヨーガ教室：毎月第2・3・4の木曜日と土曜日に東原庁舎にて開催

(3) 絵手紙似顔絵教室：毎月第2土曜、東原庁舎にて開催

(4) 太極拳教室：毎週金曜日、東原庁舎にて開催

7 法人運営・管理事業

(1) 理事会開催予定

平成29年5月 事業報告及び決算報告について

平成30年3月 事業計画及び収支予算について

(2) 評議員会開催予定

平成29年5月 事業報告及び決算報告について

平成30年3月 事業計画及び収支予算について